

暑寒の峰

令和4年(2022年)10月31日発行
令和4年度 NO.4

雨竜町立学校運営協議会
小中連携部会

～ 心身を鍛え、知を磨き、ふるさと雨竜に誇りを持つ児童生徒 ～

班回覧

小・中合同プレ研修会

令和4年9月12日(月)

グローバル化やICTの発展により、子どもたちを取り巻く生活環境や学習環境も急激に変わっています。思考力や表現力、コミュニケーション能力等を培い、既存の知識の活用が重要視されています。そのために雨竜町立学校では、小学校・中学校合同研修を行い、話し合いを位置づけた授業改善に取り組んでいます。また、毎年11月に小中合同公開授業研究会を開催し、本校の取り組みを他校の先生方にご覧いただいています。

今年度も、11月25日(金)公開授業研究会を予定しており、小学校・中学校・特別支援から3本の授業を公開することになりました。

その研究会に向けて、小・中合同プレ研究会を行っています。授業公開後に研究協議を行い、公開された授業から「これは素晴らしいと思った場面」「自分の授業に取り入れたいと思う方法」等をグループで話し合い、小学校・中学校で交流し、教員の指導力向上に取り組んでいます。



小学5年生・社会乗り入れ授業

令和4年9月22日(木)



施設一体型の特長を活かし、小学校教員の細やかな指導を中学生に提供したり、中学校教員の専門的な指導を小学生に受けさせたりすることを『乗り入れ授業』と呼びます。『乗り入れ授業』は、中1ギャップにも対応できると考えられており、本校でも主に中学校の先生が小学校の高学年に教える形で実施しているところです。

9月は、中学校社会科の■■先生が、小学5年生に向けて、『国内の食料生産』について一単元まるごと授業を行いました。単元の初めに、グループ毎の課題を選択させ(例えば「地産地消」や「食品ロス」「後継者問題」等)、生産者・消費者の立場から解決策を考え、グループで食の未来について提案しました。子どもたちは■■先生からアドバイスをもらいながら、グループ主体で学習を行いました。